

《 第1回子ども読書ボランティア研修会 》

【趣旨】

家庭で読書の習慣を身につけ、発達段階に応じた読書活動をとおして親子の思いを伝え合い、コミュニケーションをとる「おうちで読書」の取組の普及を図るとともに、子どもへの読み聞かせに携わるボランティアの活動の幅を広げ、質を高める技術の習得の場となることを目的として開催しました。

【日 時】 令和5年7月19日（水）13：30～16：30

【会 場】 G-NETしが 男女共同参画センター1階 大ホール

【参加者】 68名

（子どもの読書や読み聞かせに関心のある方、読み聞かせボランティア関係者、「おうちで読書」推進チーム関係者、公共図書館・市町行政関係者等）

【内 容】 ① 実践事例の紹介

- ・ 「おうちで読書」の取組について 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課員
- ・ 事例1：言葉を大切にすまちづくり推進協議会 西前 智子 さん
- ・ 事例2：逢坂 smile 家庭教育支援チーム 殿城 弘子 さん

② 講演

演題「楽しもう！ 絵“本”の基“本”」

講師：絵本専門士 家近 伊作 氏

③ 情報交換

グループに分かれて、絵本の読み聞かせや子どもの読書についての情報交換

● 実践事例の紹介

- ・ 「おうちで読書」の取組について

生涯学習課員から「おうちで読書」の目的や目指す姿を説明し、アウトリーチ型の啓発活動として展開している「おうちで読書」ブース出展について、取り組むときの事前準備やスケジュールなどの具体的な内容を例示しながらお話ししました。併せて、参加者の皆様から子どもの読書活動に対する御意見をいただくために、今年度実施している「こども としょかん」検討事業について紹介しました。

- ・ 「おうちで読書」

西前さんからは、実際に「おうちで読書」ブース出展の活動をするときの流れについて、写真を交えながら発表いただきました。参加者のニーズに合わせて注意していることや、活動して良かったエピソードなどを実践者の立場からお話いただき、特に紹介いただいた長浜市の「えほんの広場セット」の取組に



関心をもつ参加者の方もいました。

- ・ 「人と人がつながりあう地域の読書活動をめざして」

殿城さんからは、マンションのロビーや駅前の広場など、地域を舞台に展開する「どこでも図書室」の取組を紹介いただきました。「好きなこと」を活力にして、小さくても活動を続けていくことの大切さについてお話しいただき、体験と読書をあわせて楽しむ企画を通じて、読み聞かせに挑戦したり、絵本を自作したりと、自発的に活動する子どもたちの笑顔が印象的な発表でした。

- 講演

家近さんからは、はじめに滋賀県にまつわる絵本や児童書、県ゆかりの作家について紹介がありました。滋賀県の風景や昆虫の写真を多く残す写真家・今森光彦さんの話から広がり、昆虫の知識絵本の楽しみ方や、図鑑に掲載されている写真のねらいなどもお話しいただきました。

続いて「絵本に描かれた絵をじっくりと見直す」ことをテーマに、参加者の皆さんにもなじみ深い絵本を例に出しながら御講演いただきました。動物のしっぽの動き、背景に描かれた植物のちがいが、登場人物が着ている衣服の変化など、細かく見ていくことで新たな発見につながるとともに、作者が絵に込めた思いを感じ取ることができるお話でした。

読み聞かせは、「絵」と「文」と「めくり」の3つからなるという、基本でありながらも重要なエッセンスを改めて学ぶことができました。講演の途中には参加者から驚きの声が上がることもあり、何度も読んでいるはずの絵本であってもまだ気づきがあるという、絵本の奥深さに触れることのできる御講演でした。



- 情報交換

地域も所属も異なる少人数のグループに分かれて、それぞれの立場から意見や情報を出し合っていたいただきました。子どもの読書に関わるときの工夫や困りごと、自分でやってみたい事やできそうな事、ボランティア活動をする上で望む支援や人・場所など、各テーマについて参加者どうしで活発な意見交換を行い、話す時間が足りないグループも多くありました。

「子どもが読書に興味を持つためにどのようにアピールするか」「どのように選書すればよいのか」といった共通の悩みや、「もっと交流や研修の場が欲しい」というニーズなど、ボランティア

ア活動している方々や学校司書、図書館職員など様々な視点からの意見を聞くことができ、参加者にとって今後の取組の参考となる情報交換となりました。



● 参加者の感想

○ 実践事例の紹介

新しい活動の場や手法、企画について学ぶことができたという意見や、自身のボランティア活動の励みとなったという声が聞かれました。

- ・ お二人とも実体験から来た感想や具体例を話してくださったので、私にもできそう、やりたいなという気持ちが湧いてきた。
- ・ 自分自身が楽しみながら、地域の方々と積極的なボランティア活動をされていることに感動した。
- ・ 「おうちで読書」や「どこでも図書室」というボランティア活動があることを知らなかったのも、絵本だけでなくペープサートなど様々なことをされていることに驚いた。

など

○ 講演

絵本の絵を深掘りすることで、新しい気づきを得られたという声が多く、講演での学びをもとに絵本と向き合い、これからの活動に生かそうとする反響がありました。

- ・ 絵本の一冊一冊のこだわりや、どんな本を選ぶべきかよく分かった。
- ・ 絵をじっくり見ることの大切さを改めて教えていただいた。何よりも絵に込められている作者の意図などを知る大切さを感じた。
- ・ 改めて作者さんの熱意をちゃんと伝えられるよう、しっかり読みたいと思った。
- ・ 基本を超えた具体例が大変面白かった。絵の本当の意味など再度読み解いていきたいとなった。

など

○ 情報交換

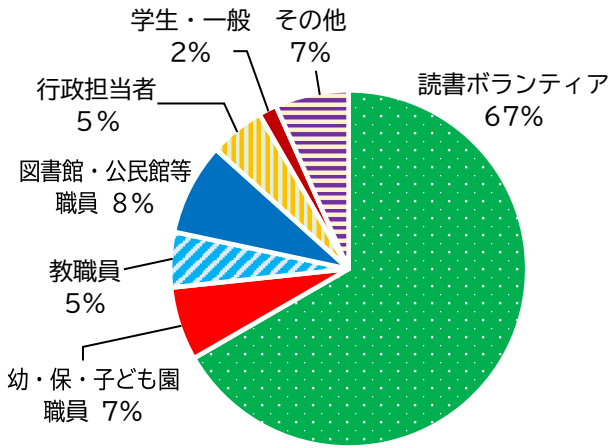
異なる立場の方々との交流により、それぞれの取組や考えなどを共有できたという御意見が多く寄せられました。

- ・ 普段話す機会のない方との交流で良かった。
- ・ 他市町の図書館やボランティアの方の活動の様子や、大切にしていることが分かって良かった。
- ・ 参加者の皆さんの経験と工夫を聞かせていただき、参考になった。

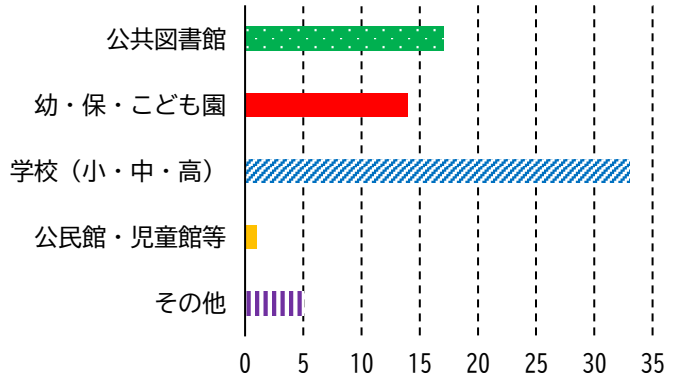
など

● 参加者アンケートの集計結果 (n=58)

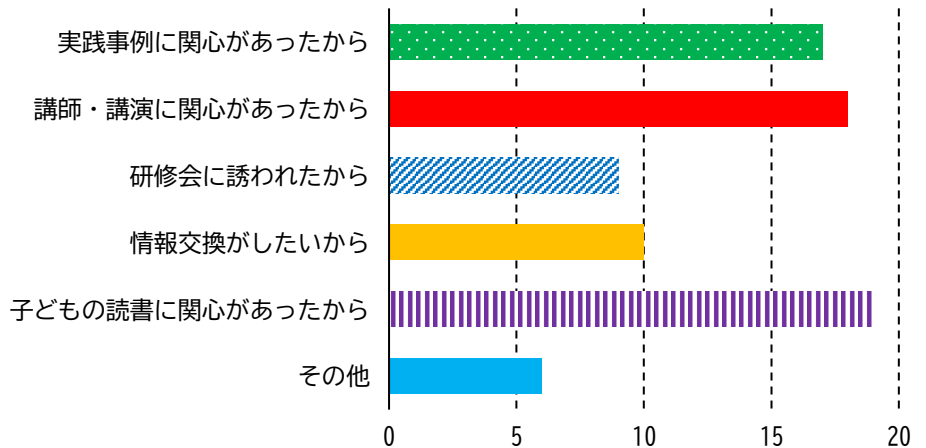
参加者の所属・職種
(複数回答可)



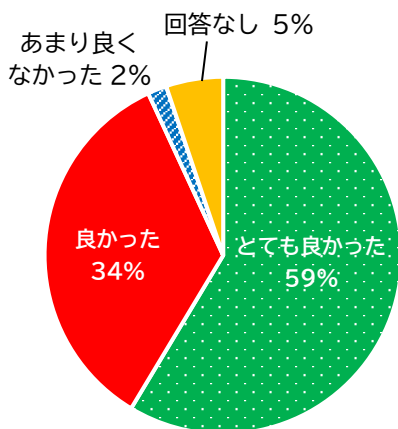
参加者の主な活動場所
(複数回答可)



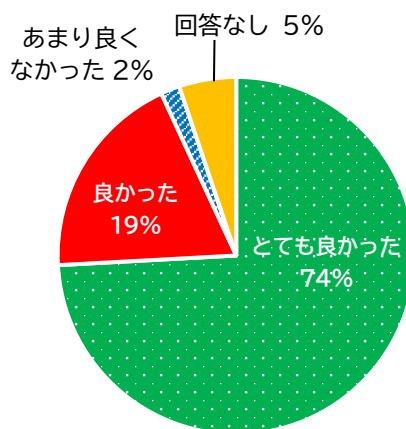
参加の動機 (複数回答可)



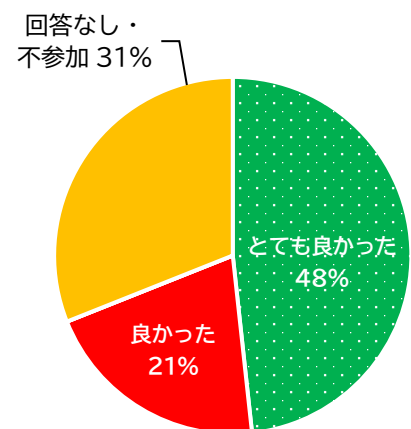
満足度評価



事例発表



講演



情報交換